

平成 19 年 11 月 20 日

中体連加盟申請（硬式テニス）

昨年度までの経緯とこれからの取り組みと現状

昨年度、神奈川県中学校テニス連盟として硬式テニスの中体連加盟を申請しました。結果は、次年度から中体連加盟の基準づくりを開始するという返答をいただきました。

それを受けて、県中学校テニス連盟では、ブロックごとに組織づくりに着手し、各地区の代表者（代表者の所属校）を以下の通りに決め、横浜地区（横浜市立庄戸中）、川崎地区（桐光学園中）、横須賀地区（葉山町立葉山中）、湘南地区（藤沢市立湘洋中）、中地区（自修館中）、相模原地区（相模原市立上溝中）、県央地区（聖セシリア中）、県西地区（函嶺白百合中）、全体の会計担当（横浜市立上の宮中）にも決定しました。全体の代表者は以上の代表者の中から公立中学校代表者に決定する予定です。その他の担当に関しては、必要に応じて決定できる体制づくりをしています。

大会の運営に関しては、県大会（個人戦、団体戦）、新人大会（個人戦、団体戦）を実施していますので、県レベルの大会に関しては問題は少なくなっていると思います。ただし、ブロックごとの大会に関しては、検討を重ねていく必要があると思っています。加盟校は毎年増加の傾向にあります。加盟校の中には個人参加の中学校もありますが、部活動を行っている中学校が確実に増えています。

加盟理由

硬式テニス部を持つ中学校が増加傾向にあるので、今までは私立中学校のテニス部のコートを使用して実施していますが、参加人数が増加して大会会場を確保することが難しくなってきました。できるだけ公営のテニスコートを確保して、短い日数で終了できるようにしたいと思います。

硬式テニス部に所属する中学生に対する経済的な負担を軽減するため。具体的には、会場校が分散していると、会場への交通費の負担はかかるし、運営費が生徒の自己負担になっているので、それらを軽減したいと思います。

昨年度、県中学校テニス連盟の総会で、できるだけ早い時期に加盟できるように、公立中学校の顧問を中心に準備委員会を発足させ、今年度は早速地区の立ち上げを完了し、全体の会計担当も決めました。また、実際に横浜市内では区大会を実施し、少しずつ大会実績を積み上げています。来年度からは、大会運営を準備委員会のメンバーを中心に行い、中体連主催の大会運営もスムーズにできるように実績を積んで行きたいと思っています。